
多面的機能支払 メールマガジン
「農村ふるさと保全通信」 第 138 号(2024.6.18)
農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室



高めよう 地域協働の力!

多面的機能支払のメールマガジン「農村ふるさと保全通信」の第 138 号をお届けします。

第 138 号の目次

1 活動組織の活動紹介

☆^{たかまつ}高松地区環境保全協議会（^{いずも}島根県出雲市）☆

小学生や幼稚園児が農業体験をしたり、地域内の高等学校の生徒が授業の一環として水路の補修作業に参加したりするなど、地域全体を巻き込んだ活動が行われています！

☆^{とさてんくう}土佐天空の郷^{さと}保全会（^{なごおかくんもとやまちょう}高知県長岡郡本山町）☆

耕作放棄地の発生防止のために鳥獣害防護柵の設置を進めた結果、経営耕地面積が増加しています！

2 活動組織へのインタビュー

☆^{しもばやし}下林あぜみちクラブ（^{ののいちし}石川県野々市市）☆

以前よりも事務作業が簡素化したことで、改めて本制度を利用された組織があります！活動組織の方にインタビューを行いました！

3 活動組織の活動の啓発・普及紹介

☆^{たかみや}高宮環境保全会（^{なんと}富山県南砺市）☆

地域住民が活動のイメージを掴めるように、写真を多用したチラシを年に2回配布しています！

4 「ディスカバー農山漁村（むら）の宝アワード」（第 11 回選定）を募集しています！

【編集後記】

■1.活動組織の活動紹介(1) ～^{たかまつ}高松地区環境保全協議会(島根県^{いづも}出雲市)～■

～地区概要～

出雲大社で知られる出雲市は、島根県の中東部に位置し、北部は国引き神話でも知られる島根半島、南部は中国山地に接しています。市の中央部に位置する高松地区は、水稲、ぶどうの生産が盛んな地域で、近年は若手の農業者も活躍しています。

活動範囲は、田 170.9ha、畑 34.5ha、水路 17.3km、農道 2.1km となっています。



花の植栽活動

～主な取組～

◎ 本組織は、農業者の減少、地域住民の高齢化により地域資源の維持管理が難しくなっていたことから、令和2年度から活動を始めました。若手農家や地域の女性も活動に参加しており、草刈りや泥上げなどの基礎的な保全活動のほか、花の植栽などの景観形成活動や、小学生、幼稚園児を対象とした田植体験などに取り組んでいます。



小学生の田植体験

◎ 令和5年5月に島根県農山漁村振興課から地域内にある島根県立出雲農林高等学校との連携活動の打診があったことがきっかけとなり、同校の環境科学科の生徒に授業の一環として活動に参加してもらうこととなりました。活動内容は、水路の補修作業で、生徒にとっては学校で習ったことを現場で実践する貴重な場となっています。活動の実施に当たっては、島根県農山漁村振興課、出雲市農業振興課にもご協力をいただき、円滑に作業を進めることができました。



高校生による補修材準備

◎ 活動に参加した生徒からは、「地域の力になることができ嬉しい」などの声があり、地域に貢献している実感を得る機会となっています。また、活動組織としても、若い方が活動に参加することで地域に活力が生まれ、さらに構成員の士気も向上しており、Win-Winの



水路のコーティング作業

関係が構築できていると感じています。

- ◎ 今後は、引き続き教育機関との連携を継続していくとともに、更なる活動の充実を図ることができるよう、新たな取組内容を模索し、地域一丸となって農業・農村を守っていきたいです。

編集担当 SDGs コメント 

小学生、幼稚園児を対象とした田植え体験などは、地域住民との交流活動により、活動への関心を高めることに繋がるため、目標 11（住み続けられる地域をつくる）に貢献しています。

また、農林高等学校との連携で、水路の補修作業を実践する現場を提供することは、目標 4（地域内外の人に質の高い境域、生涯学習の機会を提供する）に貢献しています。

地域住民と高校生や子供たちの活動を通じた交流がお互いに良い効果をもたらしています。今後も取組を継続していただき、地域が発展していくことを応援しています。



■ 1. 活動組織の活動紹介(2) ～土佐^と天空^{てんくう}の郷^{さと}保全会(高知県^{なごのくに}長岡郡^{ながのくに}本山町^{もとやまちょう})～ ■

～ 地区概要 ～

本組織がある高知県長岡郡本山町は、四国の中央部、吉野川の上流域に位置しています。高い山々の谷間に広がる標高 250～850m ほどの伝統ある棚田は、優れた景観で観光名所となっているほか、寒暖差を利用して高品質な米や野菜が生産されています。その中でも「土佐天空の郷」は、お米日本一コンテストで特別最高金賞を獲得しており、本山町を代表するブランド米です。一方で、農業者の高齢化・後継者不足などの課題があり、施設管理や老朽化した水路などの機能維持等に対応するため、令和2年度に本組織を発足しました。現在は田 183ha、畑 13ha、農道 42km、水路 57km なを対象に活動を行っています。



伝統ある棚田の風景

～ 主な取組 ～

◎ 農道、水路の草刈りや泥上げは集落単位で年に約 70 回実施しており、農業者のみならず非農家も参加しています。



用水路の清掃

◎ 景観形成を目的に、パンジー、葉牡丹などの植栽を実施しています。計 20 名程度が参加しており、活動を通して地域住民の交流や集落間の交流を図っています。



農業用水路の補修作業

◎ 地域の農業被害及び農地荒廃を防ぐため、鳥獣害防護柵の設置などに取り組んでいます。非農家も参加しており、見回りや防護柵の補修なども実施しています。

◎ このような活動を通して、全国的に耕作放棄地が増加している中、本山町では経営耕地面積が 198ha から 199ha と増加しています。今後も活動参加者の多様化（地区外の非農家の参加）などにより農業



パンジー・葉牡丹などの植栽

環境をより良くしていくことを目指して取り組んでいきます。

編集担当 SDGs コメント 

農道、水路の草刈りや泥上げを行うことは、目標2（持続可能な農業生産を支える）に貢献しています。

各活動に非農家の方も参加しており、地域一体で活動が図れています。今後も本活動を継続していただき、地域の農業環境が益々、良くなることを願っております。



■2. 活動組織事務局へのインタビュー

～^{しもばやし}下林あぜみちクラブ(石川^{ののいちし}県野々市市)～■

～組織の概要～

下林あぜみちクラブは、石川県野々市市の中央部に位置する都市近郊の農村地域で活動している組織です。農家の高齢化もあり、農家のみでの活動が困難になっていることから、地域住民と協力して農業用排水路の清掃や補修、農道の整備などを行うことにより、多面的機能の発揮の促進を図っています。

【活動範囲】 田 27ha、水路 5.1km、農道 5.4km

【主な構成員】 農業者 13 人、非農業者 13 人、参加団体 1

【活動開始時期】 平成 28 年

～インタビュー～

Q：組織を立ち上げようと思ったきっかけを教えてください。

A：下林あぜみちクラブでは元々、多面的機能支払交付金制度の前身である、農地・水保全管理支払交付金制度を活用し、用水路の清掃や補修作業などを行っていました。事務作業が煩雑であったこともあり、交付金を活用した活動は終了。生産組合の活動費を利用して活動を継続していましたが、活動経費がかさむことから、継続が難しくなっていました。何か活用できる制度がないか探していたときに、この多面的機能支払交付金制度を市から紹介されました。農地・水保全管理支払交付金制度のときよりも、事務作業が簡単であり、また、活動内容も選択できることから、改めて制度を活用することとなりました。



下林あぜみちクラブのみなさん

Q：組織を運営する中で、苦労されていることはありますか。

A：作業人数の確保が一番苦労しています。農家の高齢化が進み、農家のみでの活動は難し

いため、町内会の協力も得て活動を行っています。また、外での作業になるため、天候が大きく影響します。草刈りなどは、どうしても稲作に影響がでないうちに作業をする必要があるため、予定していた日に雨が降ったりすると、日程の再調整が必要になるため、なかなか大変です。特に6～7月の天候は気になります。

Q：特に力を入れて取り組んでいる活動内容がありますか。

A：年に一回、水路の泥上げを行っており、作業するには必ず、農家だけではなく、町内の方にも声をかけるようにしています。



水路の泥上げの様子

Q：（力を入れている活動について）参加者を増やすためにどのような工夫をされていますか。


A：農家は年配の方が多く、5年後10年後となると、耕作者は大きく減ると想定されます。今のうちから農家以外の方にも力を借りて活動する流れを作り、今後も活動を継続できるようにしています。農家は生産組合を通じて参加確認を行っていますが、農家以外の方にはチラシを配布し、参加を促しています。3月頃に行っている泥上げは地域の恒例行事となっており、毎年ご参加いただける方もいらっしゃいます。また、地元には30代～50代で構成されている団体があるため、今後大掛かりな作業を行う場合には、SNSを活用させてもらい案内しようと考えています。

Q：活動を行ってよかったことを教えてください。

A：農道や水路の維持管理ができることももちろんですが、町内の方に普段農家がどのような活動をしているのかを知ってもらえる機会になることです。

Q：今後の展望や目標を教えてください。

A：農地や農道・水路がある限り活動を続けていきたいと思っています。

編集担当 SDGs コメント 

町内会と協働で農道や水路の保全活動を行うことは、目標 16（多様な主体の参画による地域づくりを推進する。）に貢献しています。泥上げ作業が地域の恒例行事として根付いたことによって、地域全体で農地保全活動の輪が広がっていますね。これからも活動の継続をよろしくお願いします！



■3. 活動組織の広報誌紹介 ～^{たかみや}高宮環境保全会(富山県^{なんとし}南砺市)～■

広報誌・自治会だよりの概要

- ◇ 毎年4月・12月に高宮環境保全だよりを発行し、高宮地域内の全世帯へ紙媒体にて配布しています。
- ◇ 高宮環境保全会の月毎の活動写真・事業詳細を簡単に掲載しています。多くの地域住民に事業内容や活動を知ってもらうことで、次世代が活動への理解を深め、活動に参加してくれることを願っています。

～ 工夫しているポイント ～

ポイント1 構成員や活動に参加した子供等の目に留まるよう、文字より写真を多く掲載しています。

ポイント2 次年度の活動日程の目安になるように、写真の下には活動日や活動内容を記載しています。

ポイント3 地域住民の活動への理解が深まるように、地域全体を交えた活動を多く紹介しています。

高宮環境保全会だより

令和5年12月1日

令和5年度 高宮環境保全会の主な現状内容を紹介いたします。

○事業名 多面的機能支払交付金事業

○事業期間 令和元年～令和5年（5年間） 予算額 令和5年度 2,641,440円

内容 ・農地維持支払い交付金 3,000円/10a

・資源向上支払い交付金 1,800円/10a

・畦畔・水路・農道など軽微な補修、景観形成、農村文化の伝承など

○ポイント1 標語・環境ポスター作品は、高宮の小学生生徒皆さんで仕上げ

構成員や活動に参加した子供等の目に留まるよう、文字より写真を多く掲載しています。

令和5年度の活動状況



監査会 4/4



令和5年度 通常総会 4/7



水路等の点検・診断 4/15



水門等の点検・診断 4/15



第一回推進委員会 4/21



春時期の草刈り状況



第二回推進委員会 6/16



水路・路肩部の草刈り 7/2



水路・農道の草刈り作業 7/2

ポイント2

次年度の活動日程の目安になるように、写真の下には活動日や活動内容を記載しています。



役所保全管理状況立会 6/27



高宮地域内のねつおくり 7/22



子ども達も頑張りました 7/22



第三回推進委員会

9/2



優秀作品2点 看板作成・設置



東石黒用水防草シート設置 10/1



標語・最優秀賞授与



学生・一般の部の標語



「歩こう会」美化運動 10/28



学校教育等との連携



線路沿い草刈り、水路江添い 11/5



第四回推進委員会 11/24

高宮保全会の活動が理解と注目される事により、一層活動に精進し住みよい地域
ポイント3 これからも高宮環境保全会の活動にご支援とご協力をお願い致します。

地域住民の活動への理解が深まるように、地域全体を交えた活動を多く紹介
しています。

■4.「ディスカバー農山漁村(むら)の宝アワード」(第11回選定)を募集しています!■

「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」とは、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、農山漁村の地域資源を活用した、地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良事例を選定し、全国に発信するものです。平成26年から実施し、令和5年の第10回選定までに315の優良事例を選定しております。

本年度の選定が6月7日(金)から募集開始しましたので、別添(リーフレット)をご覧の上、農山漁村の地域の活性化等に取り組む団体や個人の方に、本取組について情報提供していただくよう、よろしくお願いいたします。

【取組概要】

農林水産省では、農山漁村の地域資源を活用した地域の活性化や所得向上に向けた取組を募集する「ディスカバー農山漁村(むら)の宝アワード」を実施しており、令和6年の応募期間は、6月7日(金)～8月9日(金)となっています。

応募は、団体向けの「団体部門」と個人向けの「個人部門」の2部門あり、有識者懇談会委員による審査・選定が行われます。

選定結果は、11月頃に公表され、選定団体及び選定者は、都内で開催する選定証授与式及び交流会にご招待される予定です。

また、「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」の特設WEBサイト等で活動を紹介するほか、PR動画の制作、交流会、メディア媒体での記事掲載など、全国へ幅広く発信されます。詳細については、下記のプレスリリース及び募集サイトをご参照ください。

【参考】

農林水産省プレスリリース(令和6年6月7日)

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/nousei/240607.html>

第11回選定募集サイト

<https://www.discovermuranotakara.com/sentei/>

首相官邸で行われた交流会の様子(令和5年12月)

https://www.kantei.go.jp/jp/101_kishida/actions/202312/20mura.html

第10回選定地区事例集(令和5年)

https://www.discovermuranotakara.com/sentei/jirei/link/jirei_sentei_10_low.pdf

■ 編集後記 ■

読者のみなさま、こんにちは！いかがお過ごしでしょうか。私は最近、研修が続いており、落ち着かない日々を送っています。5月の中頃から農業水利に関する知識を習得するための研修が始まり、実際に水田で減水深を測定したり、水路で流量観測を行ったりもしました。そして現在は、各省庁の一年生が集まる合同研修に参加しており、刺激を受ける毎日を過ごしています。



いつもメールマガジンを読んでいただきありがとうございます。
次回の投稿もお楽しみに！

減水深の測定の様子

◇多面的機能支払メールマガジン「農村ふるさと保全通信」バックナンバー◇

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nousin_furusato_hozen/index.html

バックナンバーはこちらの二次元バーコードからもご覧いただけます！→



◇「多面的機能支払交付金のロゴマーク」◇

ロゴマークは以下のサイトからご利用になれます。

活動内容の紹介や広報の発信などに、どんどんご活用ください！！

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/attach/pdf/tamen_siharai-31.pdf



◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇

メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は以下のサイトから。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

手続きにはパスワードが必要です。

お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

◇多面版 SDGs アイディアシート（案）◇

SDGs アイディアシートのダウンロードは以下のサイトから。

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/jirei_SDGs.html

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身の所属する活動組織の紹介文（300字程度）等に関するメールをお待ちしています！！

tamen_ml@maff.go.jp

-----【発行】-----

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1
農林水産省農村振興局整備部農地資源課
多面的機能支払推進室（担当：青木、土田）
TEL：03-3502-8111（内線 85683）